

1 本校のスクールポリシー等について

スクールミッション

校是「全員指導者たれ」に基づく「自主・自律・人間尊重」を教育目標とし、進路、学習、生活指導を総合的に一体化した指導方法であり、開校以来の理念「大家族主義」に根ざす教育活動を通じて、学力・創造力・リーダーシップを身に付け、持続可能な未来を創るリーダーとなりうる人材を育成する。

教育目標	本校の校是「全員指導者たれ」及び教育目標「自主・自律・人間尊重」を達成するため、生徒、保護者及び都民の期待に応える特色ある教育活動を展開して次のような学校を目指す。 ① 生徒の学力を最大限に伸ばし生涯学び続ける力を育成する学校（学力向上・学習指導） ② 次代を担うたくましいリーダーを育てる学校（全人教育・生活指導） ③ 全ての生徒が希望する進路を実現できる学校（希望進路実現・進路指導） ④ 生徒、保護者、都民から信頼され、地域に貢献する学校（地域貢献）
------	--

スクールポリシー

アドミッションポリシー —本校が期待する生徒の姿—

① 学習成績が優秀であり、入学後も学習に対する向上心を持ち、難関大学への進学を目指す生徒	② 社会や自然に対する幅広い知的興味や探究心を持ち、自ら学び、自ら考え、判断し、表現できることを目指す生徒	③ 挨拶・時間厳守・人の話を聞くこと・きちんとした服装や髪型など、集団の一員としてのマナーを身に付けている生徒	④ 部活動や生徒会・委員会活動及び奉仕活動などに積極的に取り組んだ経験を持ち、学習との両立を前提に、高校生活においても様々な分野で活躍することに意欲をもつ生徒
--	---	---	---

カリキュラムポリシー —本校で行う取組—

1・2年次は大学入学共通テストに対応した、文系・理系に分けない共通履修を行う。3年次は、進学重視型単位制の利点を生かし基礎・応用や演習など本校独自の学校設定科目も含め、各生徒の志望大学に合わせた幅広い科目選択を行う。年次の区別なく、興味・関心に応じて第2外国語や英会話、芸術の選択も可能とする。	自律的生活習慣の確立を図るため、挨拶、時間厳守、身だしなみ、清掃習慣、ルール・マナー、人の話を聞く態度を育成するとともに、地域行事やボランティア活動に参加するなど地域への協働と貢献を行う。	「総合的なガイドライン」に基づき、「集中と切り替え」による効率的・効果的な部活動を行うとともに、学級担任と部活動顧問の相互連携による学習と部活動の両立を図る。	社会や自然に対しての好奇心を「総合的な探究の時間」や理系活動を通して研究し、自分の考えを明確にして議論を行い、英語でも表現できるようにするとともに、補習・講習を充実させ、学習達成度を基に全ての生徒の進路実現に向けて個に応じた指導を組織的に行う。
---	--	---	--

グラデュエーションポリシー —本校を卒業する生徒の姿—

授業を中心とした学習と補習・講習により高校段階での必要かつ十分な学力を身に付けている。 ・複雑な入試問題を解くため、教科書の内容の習得と徹底した演習と講習、添削指導により教科書の内容を活用して分析的思考力と論理表現力を必要とする入試問題を解ける能力 ・大学入学後、高校段階での学習内容と大学での教養課程とのつながりを認識でき、目指す専門教育に円滑に移行できる能力	「総合的な探究の時間」や理数教育における教科等横断的な学びの推進事業及び「GE-NET EE」の取組を通して、大学や企業で求められる自ら課題を定義し、そのことに関して積極的に調査や議論をして、よりその課題に対して考えを深める課題解決能力を身に付けている。 ・解答のない、見えない課題に対して必要な情報を検索し、その中から解決に必要な情報を抽出して、組み合わせることで課題解決までの過程を作り、行動し、振り返りながら次の行動を省察する能力	挨拶、時間厳守の意識、身だしなみなどの指導を日常生活から徹底し、ルールを守り、周りの人と困難に立ち向かう「自主・自律の精神」の育成と他の意見を聴き人格を重んじる「人間尊重の精神」を、進路、学習、生活指導を総合的に一体化する指導計画「新宿システム」の着実な実施を行うことにより体得させ、将来の自分のありたい姿を明確に表現できている。 ・自分のなすべきことを自分自身で考え定めて実現するために、自分の能力を分析し自らの行動を律する自己管理能力を身に付け、自分の判断や行動について、自ら責任を持ち、決めることができる能力	地域貢献を通して社会参画意識を向上し、また、臨海教室等の学校行事や部活動を通して周囲と家族のような信頼関係を積極的に構築して、将来、地域社会をまとめることができ指導者として次世代を担うリーダーとなる資質が育っている。 ・集団の中での当事者意識を持ち、行動できる能力 ・自分の考えたことが集団の中でどのような影響があるか認識し、集団がもつ課題、自分の立ち位置及び役割を認識して行動し、自分の意思や判断で責任をもって行動し、集団を先導できる能力
---	---	--	--

2 目指す学校

本校の校是「全員指導者たれ」を踏まえ、スクールミッションを達成するため、教育目標「自主・自律・人間尊重」を設定し、生徒、保護者及び都民の期待に応える特色ある教育活動を展開して次のような学校を目指す。

(1) 生徒の学力を最大限に伸ばし生涯学び続ける力を育成する学校（学力向上・学習指導）

授業、講習、個別指導、自主学習支援などのあらゆる学習指導を効果的に実施して、自己実現に必要な確かな学力を育成するとともに自ら学ぶ姿勢を育成し、生涯にわたって成長し続ける人材づくりをすすめる。このため、全教員で授業改革を推進する。

(2) 次代を担うたくましいリーダーを育てる学校（全人教育・生活指導）

「自主・自律」の精神を培い規範意識、社会性を養って、リーダーとしての資質を身に付けさせ、特別活動を通じた文武両道の実践から健全な心身と「人間尊重」の意識を育てる。

(3) 全ての生徒が希望する進路を実現できる学校（希望進路実現・進路指導）

「進学指導特別推進校」として進学指導の充実を図り、キャリアガイダンスなどを組織的計画的に行う進路指導を行う。進路選択へ主体的に取り組み、高い志をもって高い目標を設定する生徒を育成する。

(4) 生徒、保護者、都民から信頼され、地域に貢献する学校（地域貢献）

地域貢献となる家庭・地域と連携した活動や地域課題解決に向けた学習を推進するとともに、広く都民への情報発信に努める。特に防災を重視し地域の拠点としての役割を適切に果たす。

3 中期的目標と方策

(1) 中期的目標 「高い志をもった生徒の育成と進路希望の実現」

～『進学指導重点校』を超える教育活動の充実～

生徒に高い志をもたせ、その実現のために、最難関大学への生徒の入学希望を叶えられる授業、キャリア教育、進学指導体制を確立することにより「進学指導重点校」と遜色ないレベルへの到達と維持を企図する。加えて、学習、探究活動、学校行事、部活動の全てに全力を尽くす生徒の育成を行い、「進学指導特別推進校」としての新しい価値を生み出す教育を実現させる。

(2) 方策 「新宿システム」の定着と発展

生徒の希望進路実現へ、「基盤」となる自律的生活習慣と特別活動の充実を磐石なものとし、「牽引力」となる強力な学習意欲と学力の向上を図るよう、進路、学習、生活指導を総合的に一体化する指導計画「新宿システム」の着実な実施と改善・工夫をすすめる。

① 学校経営

- ア 全教職員で学校の組織的教育力の向上に努め「進学指導特別推進校」の使命を全うする。
- イ 全教職員の共通理解の下に進路、学習、生活指導に当たるよう組織的な校内研修や研究活動を推進する。
- ウ 経営企画室による経営参画を推進し、教員との連携を図って円滑な学校運営を進める。
- エ 人権尊重を推進し、体罰禁止やいじめの根絶に取り組む。

② 進路指導

- ア 進路指導部を中心に組織的な進路指導を実施し、3年間を見通した、生徒の志を高めるキャリア教育を推進する。

③ 学習指導

- ア 教科主任会を中心に進学に向けた授業改革と研究活動を推進する。
- イ 主体的に学習し探究する自学自習の態度を身に付けさせる指導を工夫する。
- ウ 教科「総合的な探究の時間」及び「人間と社会」における地域貢献活動を通して探究的態度の育成や社会に貢献する意識の育成を図る。

④ 生活指導（部活動、特別活動を含む）

- ア 生活指導部を中心に自律的生活習慣の確立を図る。
- イ 文武両道を旨とし、「集中」と「切り替え」を徹底して、学習と特別活動の両立を図る。
- ウ 「チーム新宿」の活動を通して保護者との連携を進め指導の充実を図る。

4 今年度の取組目標と方策

（１）今年度の目標 ～本質を見極め・課題に正対し・チームで取り組む～

- ① 一人一人の生徒が希望する進路の実現（難関国立大学と早慶合格者数の増加及び進学指導重点校選定基準の達成・継続）
- ② 学習指導要領に基づき、学びの広がりを目指す探究的な学びと「総合的な探究の時間（新宿学）」の組織的・計画的な実施による充実・発展

（２）方策

- I 進路、学習、生活指導を一体化した「新宿システム」（以下の①～③）の充実。
- II バランスのとれた学校経営のための、健康づくり、防災・広報活動、経営企画室等の充実（④以下）。

① 進路指導

- ア 定点観測（外部模試データ分析・検討会）を１年次生、２年次生ごとに３回行い、学力分析、指導内容・方法の改善、弱点科目克服対策等を行う。（進路指導部、学年担任団、教科担任）
- イ ３年次生「目線あわせ」等（計４回）を通して個別生徒の外部模試データ等と志望校についての分析・検討を進め、受験克服対策への共通理解を深めるとともに高い志望を維持する指導を推進する。また、１、２年次生についても上記アの分析会の中で、必要な生徒に対し「目線あわせ」を実施し、早期から個に応じた組織的指導を確立する。
- ウ 放課後、長期休業日等に補習・講習を積極的に実施し、丁寧な指導により生徒の学力を伸長させる。また、自習室チューターとのオンライン質問コーナーを開設し、自習室以外で自学自習に取り組む生徒が自習室開室時にオンラインで質問できる体制を充実する。
- エ 国公立２次試験対策を充実させる。特に大学入学共通テスト後の講習、個別指導を進路指導部が中心となり、組織的・効果的に行う。
- オ 「GE-NET EE」指定校として、オンライン英会話の活用や GTEC 等による英語力の診断などにより、グローバル人材の育成を推進する。
- カ 学年集会を計画的・効果的に実施する。各種面談や学習時間調査、進路説明会等も活用しながら、学校行事から学習への切り替え等、進路実現へ努力・邁進する学年集団を維持するよう指導する。

- キ 自習室（全ての年次向けに設置、放課後・長期休業日等に開放）や定期考査前の教室、職員室前の質問コーナーでの学習等から、仲間と切磋琢磨する共同自学自習を奨励する。
- ク 教員の外部研修会活用、先進校視察、英語科海外派遣研修等を行い進路・学習指導改善に努める。
- ケ キャリア教育を推進する。高大連携、キャリアガイダンス等の実施や海外交流事業等に取り組む。また、図書・探究部を中心に地域企業との連携も図る。
- コ 進路指導部と図書部の連携による「新書を読もう！」などで読書活動を推進し、知性と教養を培い読解力等の素地を高める。

② 学習指導

- ア 授業改革を推進して生徒による主体的・対話的で深い学びの研究と実践を進める。また、教科主任会を活用し、指導と評価の一体化に基づく学習指導を組織的に推進する。また、生徒の進路希望を実現させるため目指すべき到達点を明確にするとともに、進路指導部及び教務部で連携し、校内研修や教員相互の授業参観期間の設定、入試問題研究、模擬試験分析を充実させ、学力調査の結果分析を生徒の学力定着に役立てるなどして学習指導の改善を図る。
- イ 全ての生徒の学力到達状況をもとに、取りこぼしのない丁寧なフォローアップ指導を行う。
- ウ 教科主任会、教科会を活性化し、教科指導を組織的・計画的に行って指導内容・方法の改善を図るとともに、入試問題研究の推進や模試結果分析などにより上位層生徒の成績伸張等に取り組む。観点別学習状況の評価方法分析・検証を通し、評価を活かした授業改善を行う。
- エ 都立高最大規模の習熟度別授業を国・数・英・化で効果的に行う。教科会で、生徒情報共有、指導内容・方法等の改善、共通考査問題作成を綿密に行う。
- オ 予習、復習を習慣化させる。週末課題の提出や宿題、小テスト等の実施、学習支援クラウドサービスを活用した支援により自学自習時間（放課後の自習室での学習や家庭学習時間）の増加を図る。
- カ 4教科（保健体育、芸術、家庭、情報）の学習などを、健全な心身や豊かな心の育成、社会性やコミュニケーション能力の育成、知力・気力の源となる体力の向上等、幅広い人間形成のため重視する。
- キ 「アートプロジェクト新宿」（文化・芸術作品展示・発表等）を継続する。
- ク 「総合的な探究の時間」の授業内容を精選・充実・拡大し、地域協働型の学びによる「新宿学」を本校における新しい学びの起点として実施していく。
- ケ 理数教育における教科等横断的な学びの推進事業や「GE-NET EE」の取組を推進する。また、生徒の体力向上などにより東京 2020 競技大会のレガシー構築を目指す教育に取り組む。
- コ CYOD による、Teams などを活用したオンライン学習と対面型授業との意図的・計画的な学習指導の展開や家庭学習との融合を行うとともに、教育活動の制限に即応できる授業体制を構築する。
- サ 1 年次生からの一人一台端末を活用した学びの構築を期する。あらゆる教育活動において、教育の DX 化を加速させる。

③ 生活指導（特別活動、部活動を含む）

- ア 自律的生活習慣の確立を図る。「時を守り、場を清め、礼を正す」の推進に向け、挨拶、時間厳守(含む遅刻防止指導週間の設定等)、身だしなみ(頭髪等)、清掃指導(含む所持品自己

管理)、適切な部活動休養日など、「生活のきまり」や部活動の「総合的なガイドライン」などに基づく指導を徹底して、ルールを守り、マナーを身に付け、人の話を聴く態度を育成する。

イ 特別活動（運動会・文化祭・臨海教室等の学校行事やホームルーム活動）及び部活動・を充実させ、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を育成する。「文武両道」を旨として学習との両立を図り「集中と切り替え」を身に付けさせる。

ウ 部活動は「総合的なガイドライン」に基づいて「集中と切りかえ」による効率的・効果的な活動を行う。また、学級担任からの模試結果等の情報提供や部活動顧問による啓発指導等を相互連携して行い、部活動と学習の両立を図り部活動の仲間と学習でも高め合い・競い合う態度を育成する。

エ 生徒・保護者・教職員・同窓会による「チーム新宿」の具現化へ保護者会、希望保護者との面談(二者・三者)、部活動保護者会(合同・部活動毎)、PTA講演会、大学入試説明会などから保護者の理解と協力を仰ぐ。また、同窓会との連携により、保護者会等において、体験談の活用、先行事例の紹介などを行う。

④ 健康づくり等

ア スクール・カウンセラー(S C)、シニアスクール・カウンセラー(S S C)、学校医、関連外部機関との連携を深め、教育相談連絡会や学校保健委員会、学校いじめ対策委員会等を組織的に実施し、カウンセリング活動や家庭と連携した指導、定期の調査等を行って、生徒の健康維持や心のケア、いじめ防止・対応、生命尊重の教育等を推進する。

⑤ 防災・広報活動・地域連携

ア 防災委員会を中心に防災課題の解決を図る。特に、地域と協働した防災訓練と避難訓練を充実させる。また、地域の防災拠点としての役割を果たす。

イ 学校説明会・見学会(学習塾対象、小学生対象、入学者選抜直前、中1・2年対象、自校作成問題等を含む)などの募集対策活動を学校の理解促進に向け計画的・効果的に実施する。

ウ ホームページの内容を充実させる。また、「X」を活用するなど保護者、都民への迅速で適切な情報発信を推進する。

⑥ 経営企画室、その他

ア 教育職員と連携した教育活動などを通して経営企画室の経営参画力向上を図る。予算編成、執行等ではセンター執行率を増加させるなど徹底したコスト管理を進める。

イ 生徒の安全・安心な学校生活の確保へ、施設・設備の警備・点検・整備を日々徹底する。

ウ 各分掌等で年度当初の目標設定と月毎の進捗報告によるPDCAを実施して組織力強化を図る。校内研修実施等により意識を醸成し、個人情報、体罰、セクハラ等の服務事故を防止に向け具体的に取り組む。ライフワークバランスの実現に向け学校閉庁日の実施などの取組を推進する。

エ これまでの百年を振り返り、本校の基盤となる考え方や教育活動を整理し、今後百年の在り方について将来構想を考え、長期計画の立案へと結び付ける。

5 数値目標

【重点目標】		【数値目標】	【6年度結果】（ ）は5年度
最重点目標	① 大学入学共通テスト7教科9科目受験者の割合	6割以上	75.0% (62.2%)
	② 難関国立4大学・医合格者数	15名以上	17名 (12名) 〔東京2, 京都0, 一橋5, 東大6, 医大4〕
	③ 大学入学共通テスト7教科9科目受験者の総合得点率	80%以上得点率: 20% 75%以上得点率: 35%	80%以上 16.1% (18.9%) 75%以上 33.6% (43.4%)
・国公立大等合格者数 ・早稲田慶応合格者数		国立大学等合格者数 計100名以上 早稲田慶応合格者数 計80名以上	国公立 116名 (102) 早慶 108名 (106)
・難関国立4大学出願者数		60名	66名 (53)
・自学自習時間		学年数プラス1～2時間	1年次 1.63時間 (1.70) 2年次 2.82時間 (3.10)
・宿題提出率		学年統一課題: 概ね8割以上	1年次 97% (95%) 2年次 90% (95%)
・大学入学共通テスト総得点全国平均比		全科目平均偏差値+5 (55以上)	16科目/17科目 (16/17) 達成
・学力の定着向上①: 実力試験偏差値の全体平均 及び通減率 (最大母数の外部実力試験 2回(7月11月)英数国)		1年次: 70以上 10%以上 60以上 70%以上 平均偏差値の通減率2%以内 (各科目もこれを目安とする)	70以上: 26.0% (22.6%) 60以上: 91.0% (86.1%) 1年次: 66.5→66.5: ±0%
		2年次: 70以上 10%以上 60以上 50%以上 平均偏差値の通減率2%以内 (各科目もこれを目安とする)	70以上: 12.2% (18.2%) 60以上: 71.4% (72.9%) 2年次: 62.9→63.3: 0.4% ↑
・学力の向上②: 実力試験偏差値の平均偏差値 (難関大向け外部実力試験(1月))		1年次: 平均偏差値(英数国) 55以上 (各科目もこれを目安)	58.5 (57.5)
		2年次: 平均偏差値(英数国) 53以上 (各科目もこれを目安)	文: 54.6 理: 55.5 (文: 55.2 理: 54.8)
・生徒の学習指導への満足度		概ね80～85%以上	80.3% (88.9%)
・生徒の学習への課題意識と意欲		概ね80%以上	82.0% (92.7%)
・年間生徒個別面談数 ・年間希望保護者面談数 ・年間補習・講習・個別指導時間 (教員一人当たり30時間、2講座開講 を目安とする)		・生徒個別面談: 3回 ・保護者面談: 1回	・生徒個人面談: 3回 ・希望保護者面談: 1回
・年間遅刻回数の減少率		1日1学級1人未満 (定期考査ごとに検証)	1日1学級0.72 (0.65人) 1年次0.3人、2年次0.78人 3年次1.09人
・部活動加入率		概ね90%以上を目安	のべ110.7 (109.8)
・保護者の本校への満足度		教育方針95%以上 学習進路80%以上	方針92.0%, 学習82.0%, 進路85.4% (方87.2%, 学83.3%, 進90.5%)
・入試応募倍率		〔推薦〕昨年度並みの倍率 〔一般〕2倍以上	〔推薦〕5.3倍 (7.6) 〔一般〕1.9倍 (2.4)
・ホームページ更新回数		85回	315回 (333回)
・自律経営推進予算・第3四半期 一般需要費執行率		80%	78.3% (学校) 89.4% (センター) (74.2% (学校) 86.0% (センター))